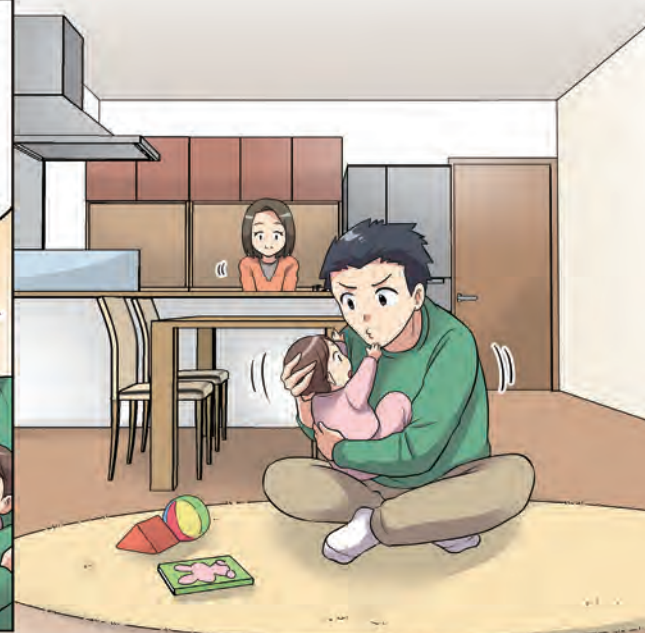


マンガでわかる

リック
RICホープ
保育園 RIC HOPE
NURSERY SCHOOL





ほら！
今、笑ったぞ
ほらほら！

はいはい
よかった
わねー



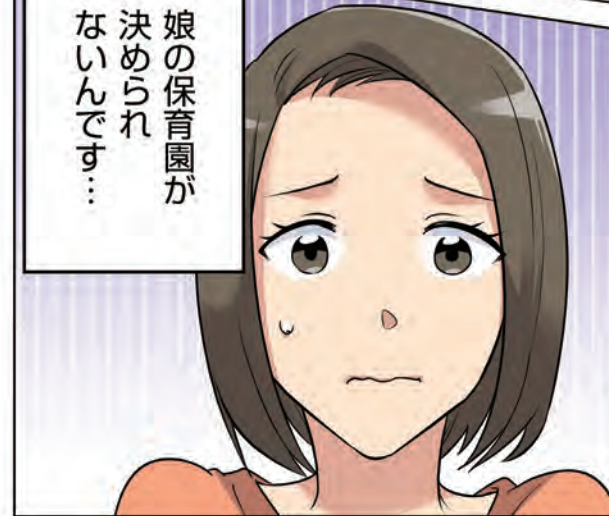
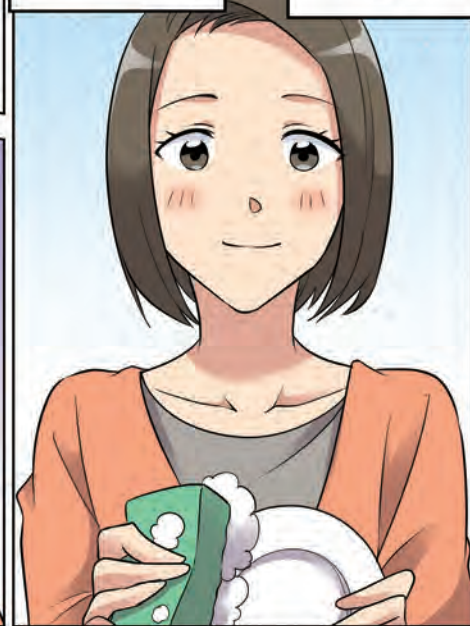
私は山内あゆみ
六か月の娘をもつ
一児の母です

夫も
育児には積極的
…でも一つ
悩みがあって…

そういえばさあ
ひまりの保育園
どこにするか
決まった？



娘の保育園が
決められ
ないんです…

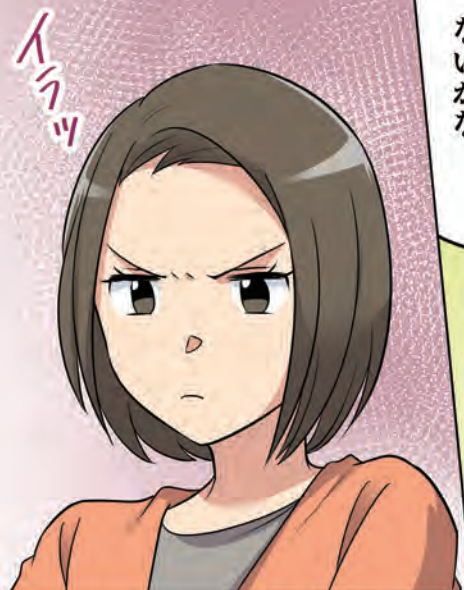


それが…
いくつか
保育園を
見学したん
だけど
……
どっこも
同じような
説明をされて



どこがいいのか
いまいち
わからないの
ね……

そうか…
ママの
仕事の復帰も
遅くなっちゃう
し……
そろそろ
どこかに
決めた方が
いいんじや
ないかな

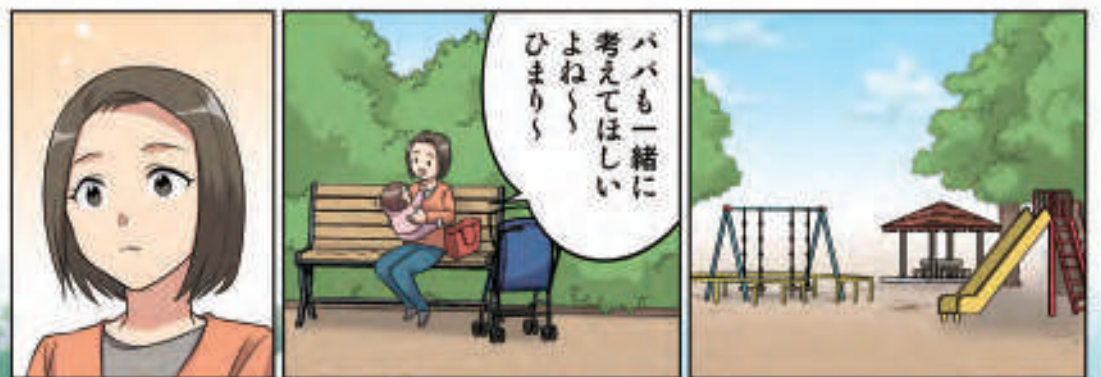
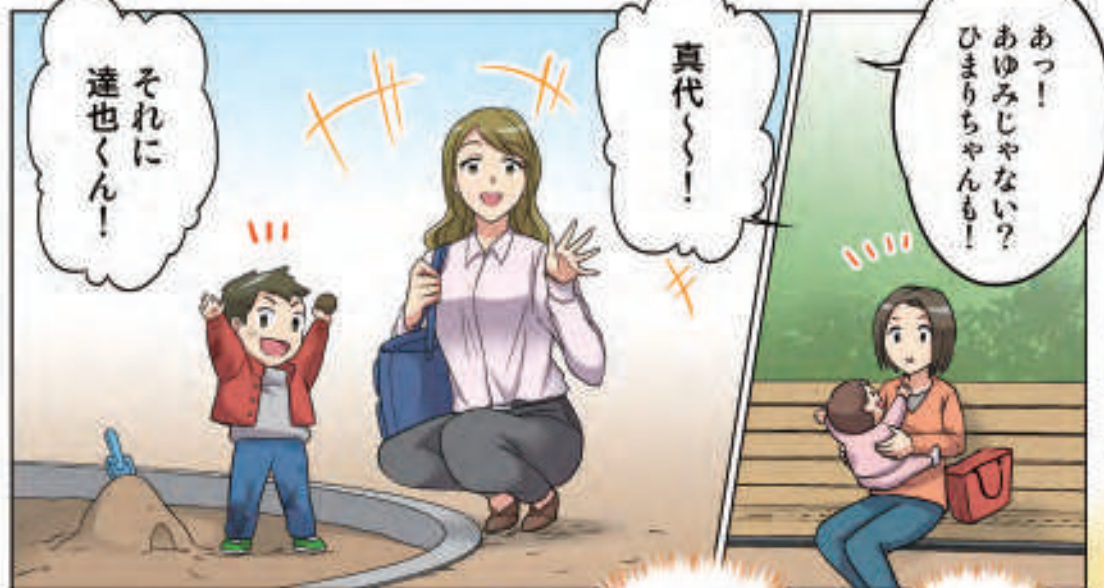


私だって
焦って
いるんだから
そんな言い方
しなくても
いいでしょ

公園でも
いって
きます！

あ…
あゆみちゃん？







あつ
堀川先生！
おはよう
ございます！



僕も
初見学だから
ドキドキ
するな〜

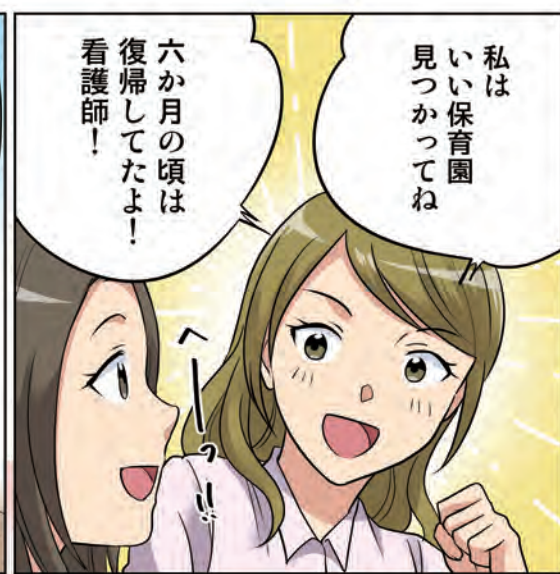
どんな
保育園
なんだろう
〜!?

次の月曜日



実は今
保育園選んで
悩んでるんだ
……

どんな保育園が
いいのになって
……

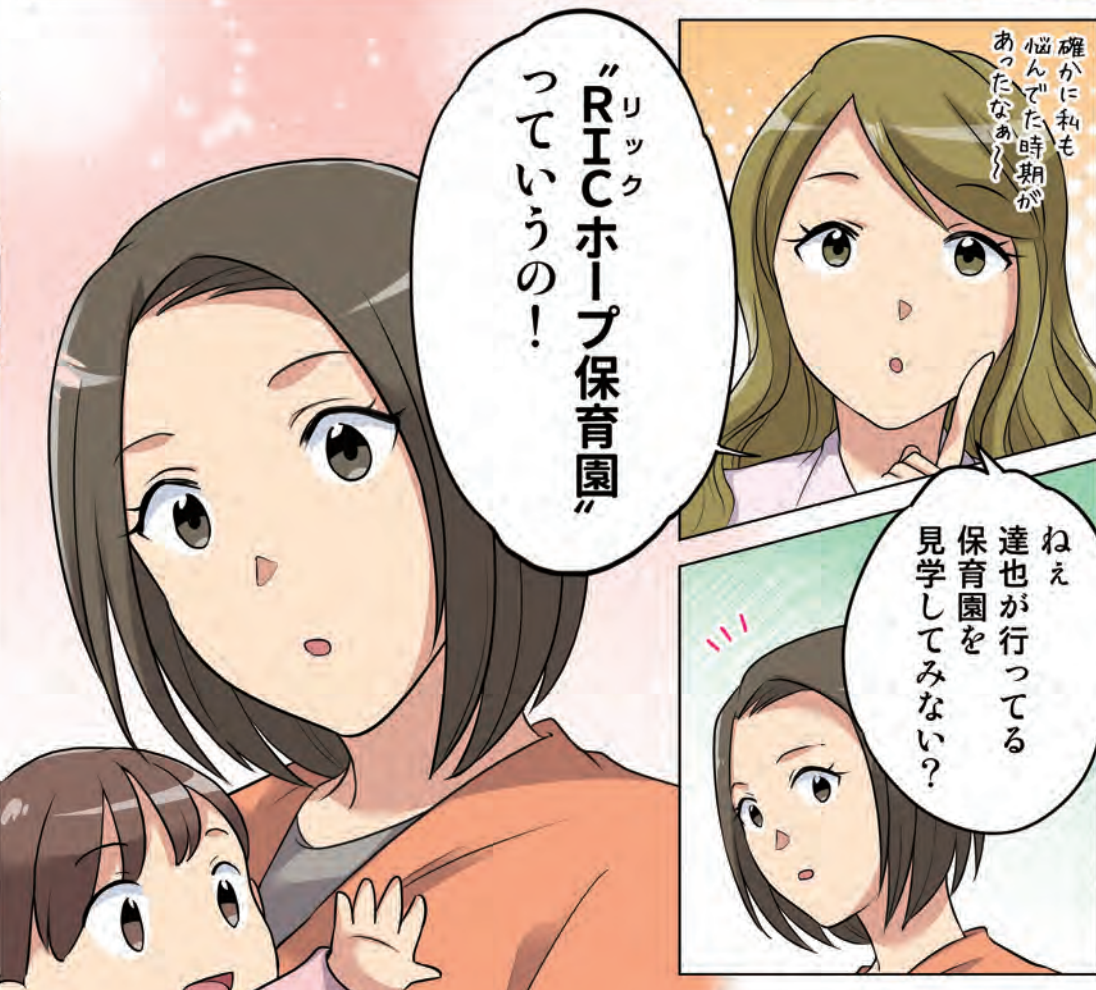


私は
いい保育園
見つけてね

六か月の頃は
復帰してたよ！
看護師！



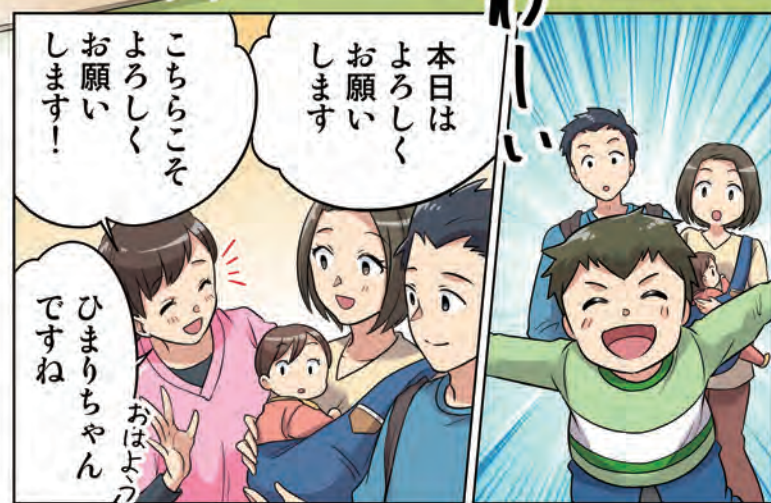
おはよう
ございます！



“リック
RICホープ保育園”
っていうの！

確かに私も
悩んでいた時期が
あったなあ〜

ねえ
達也が行ってる
保育園を
見学してみない？

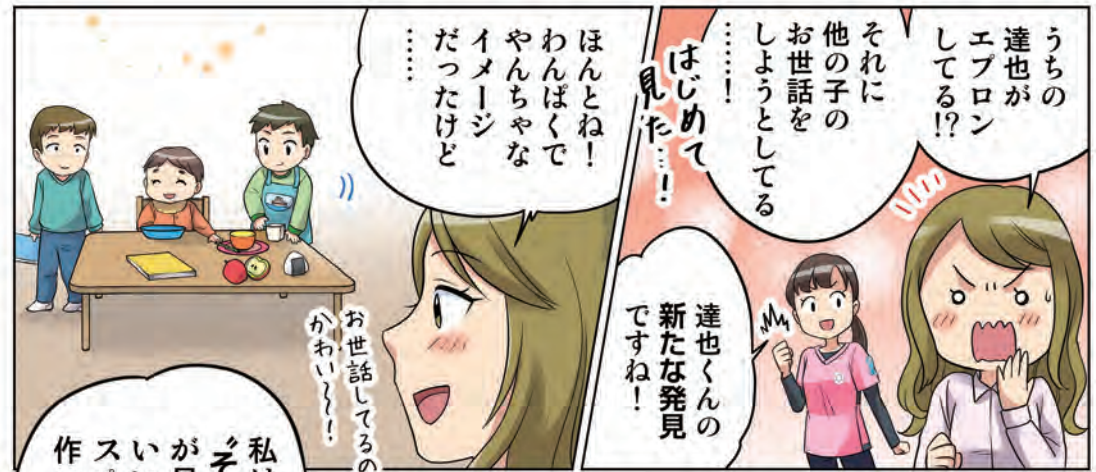
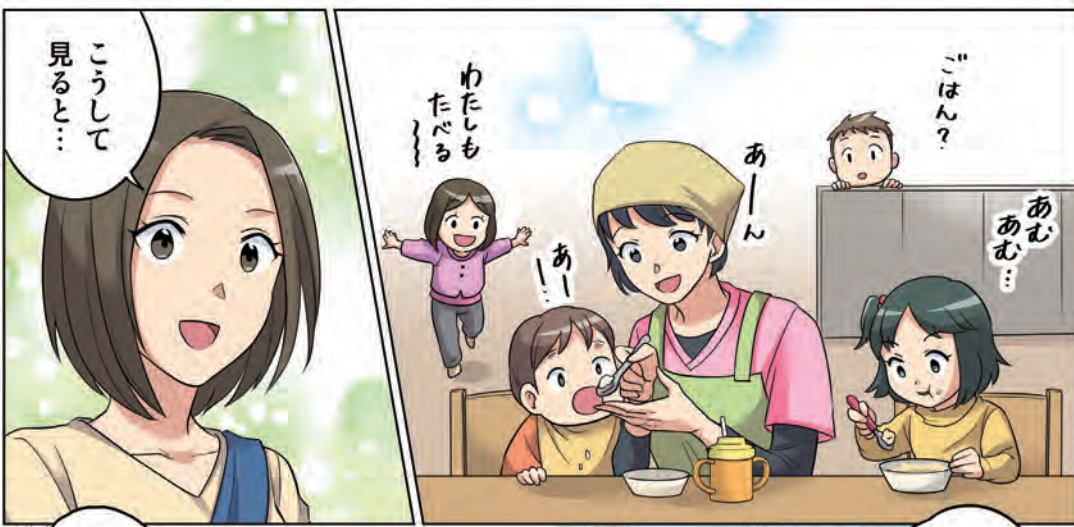


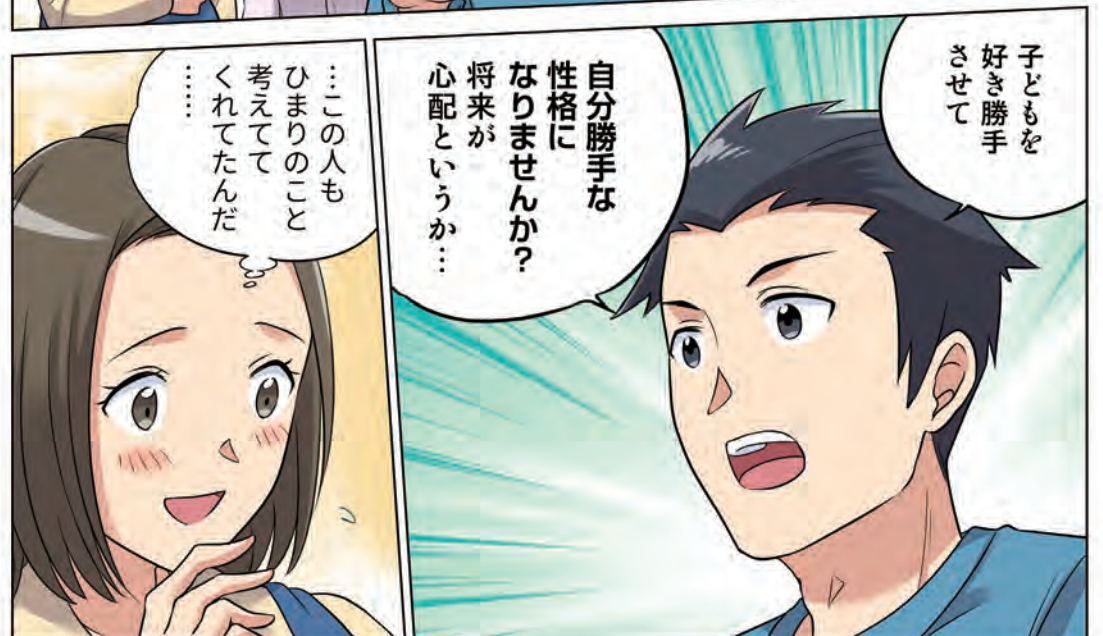
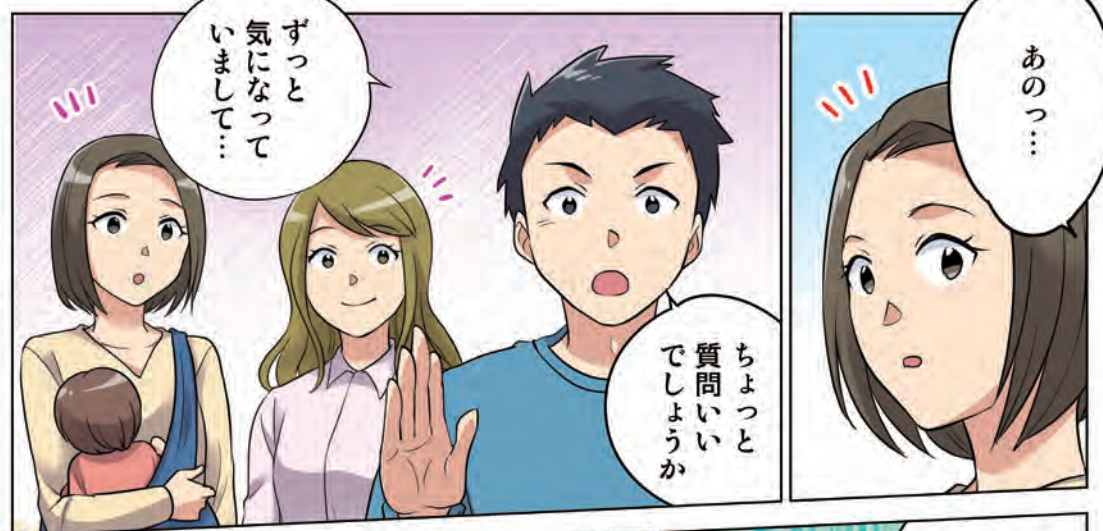
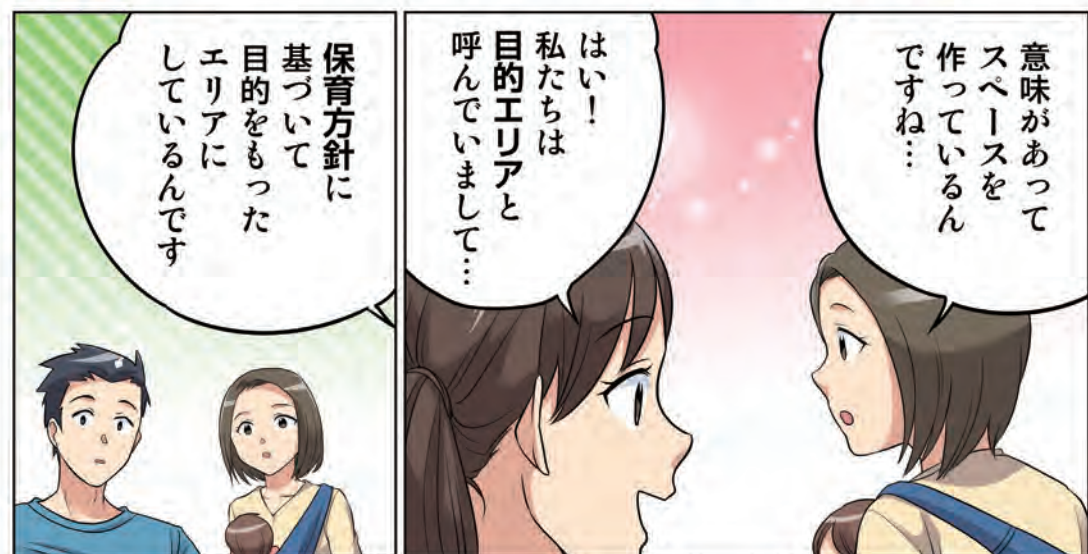
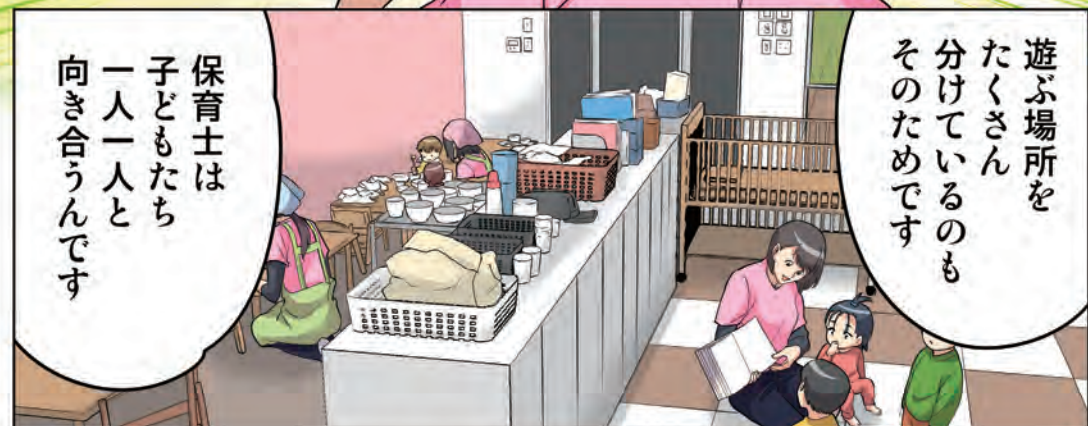
本日は
よろしく
お願い
します

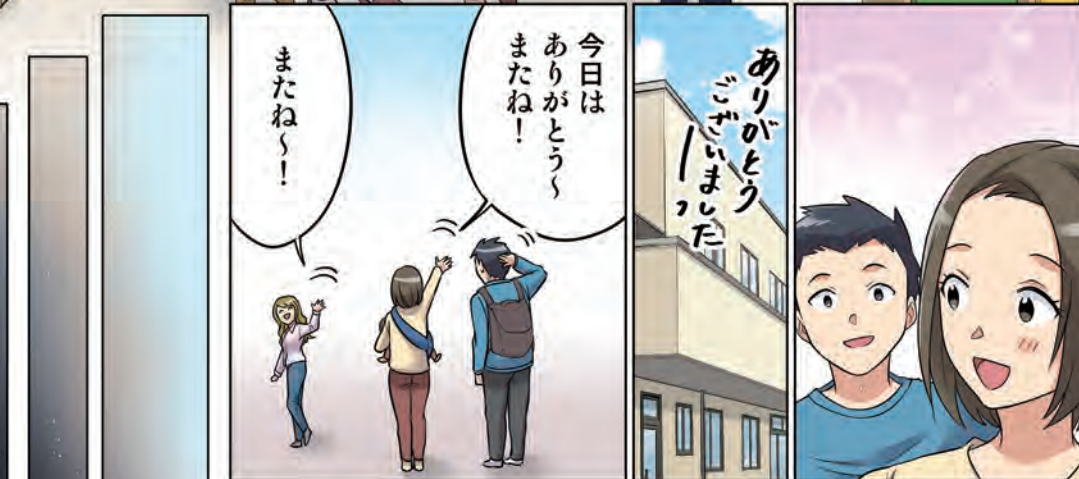
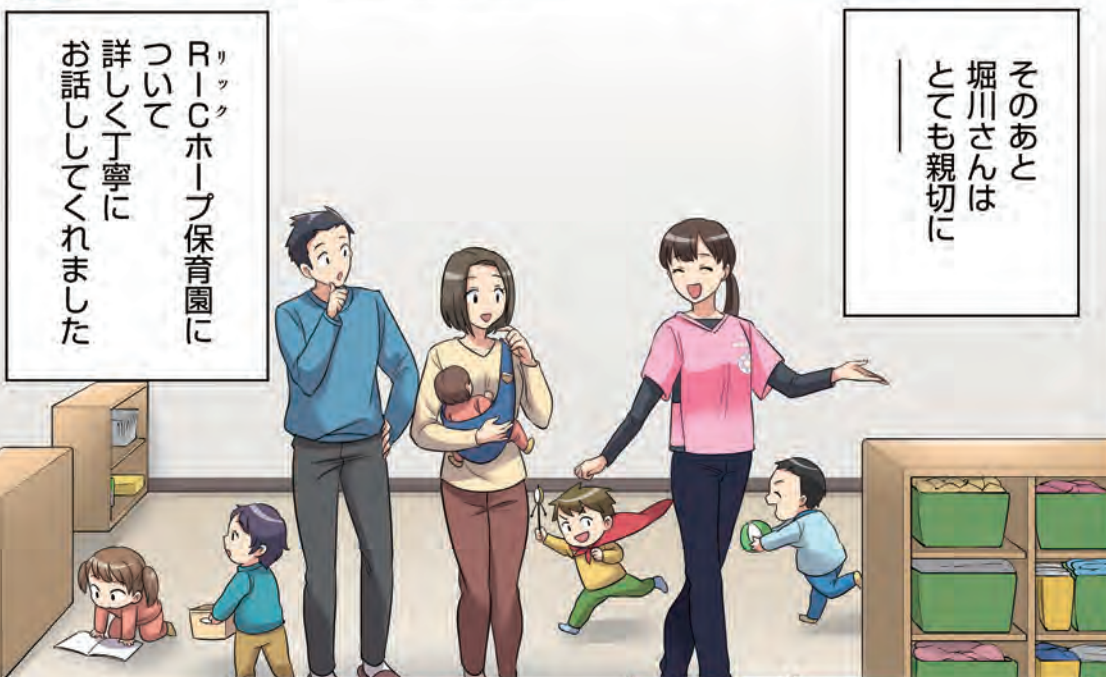
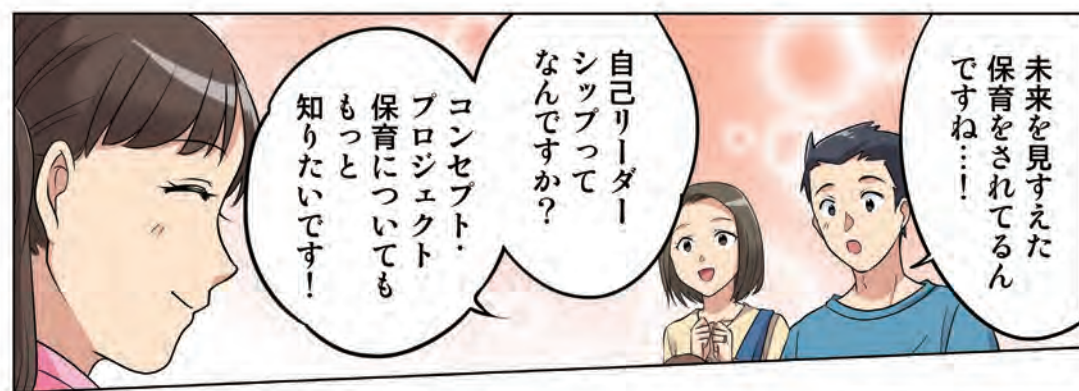
こちらこそ
よろしく
お願い
します！

ひまりちゃん
ですね









あゆみ
どうだった？
今日の
保育園…

うん！
私はもう

「リック
保育園」に
決めたくなって
思ってるんだ

やっぱり！？
僕もいいと
思うよ！

私も
おんなじ！！

よかった！

そっか！
ちなみに
理由は？

二つあって
一つは…

僕たちの
知らない
ひまりの個性が
どんどん
見つかったら

楽しそうだな
って
思ったん
だよ

それじゃ
決まりね！

あ…
もうひとつは？

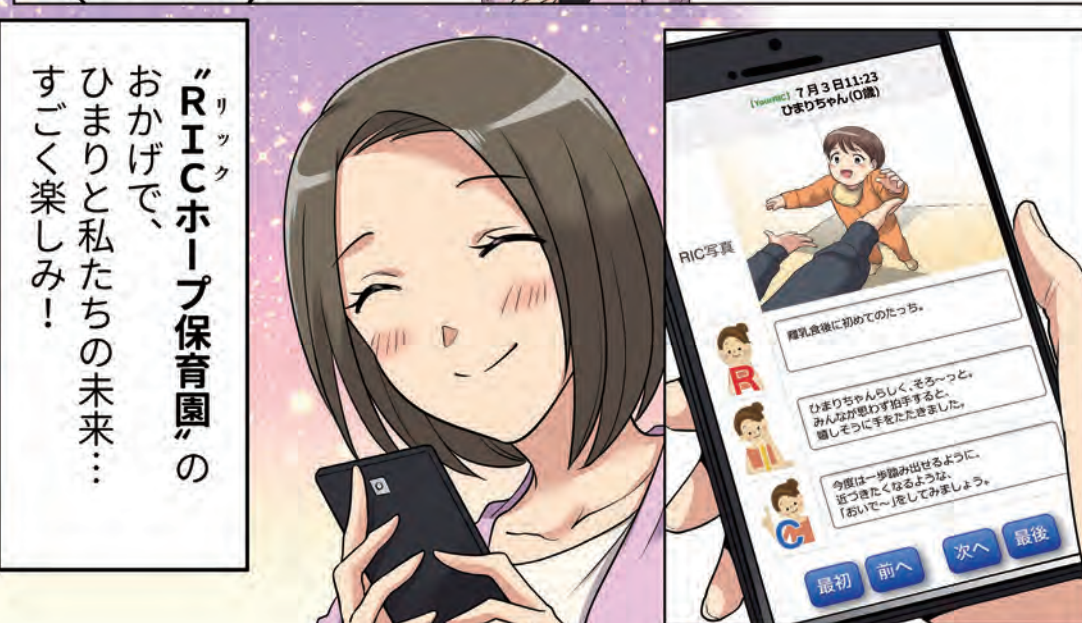
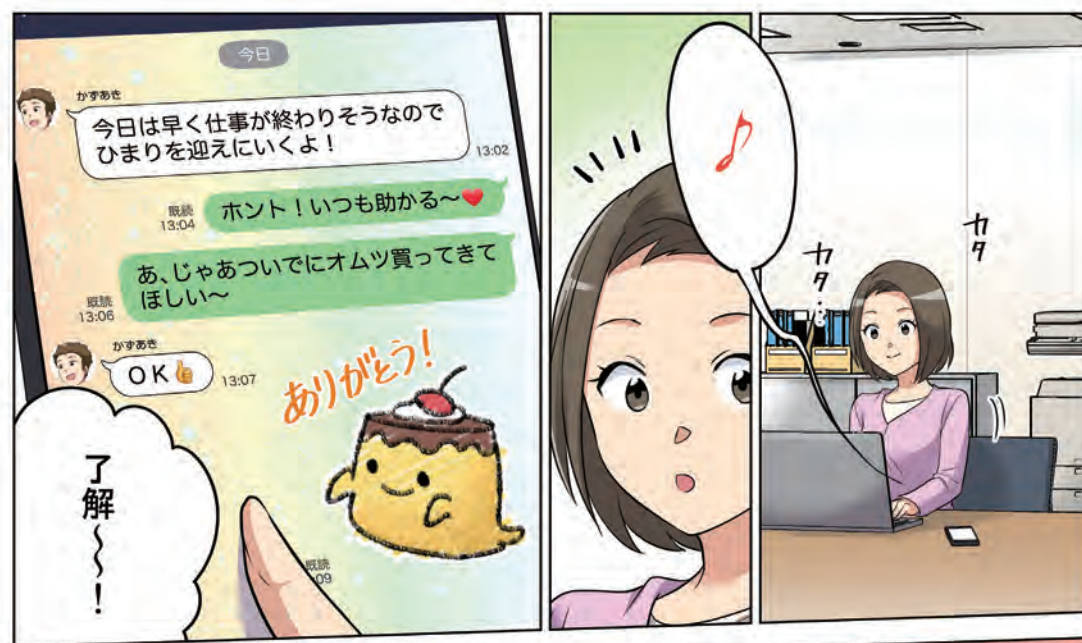
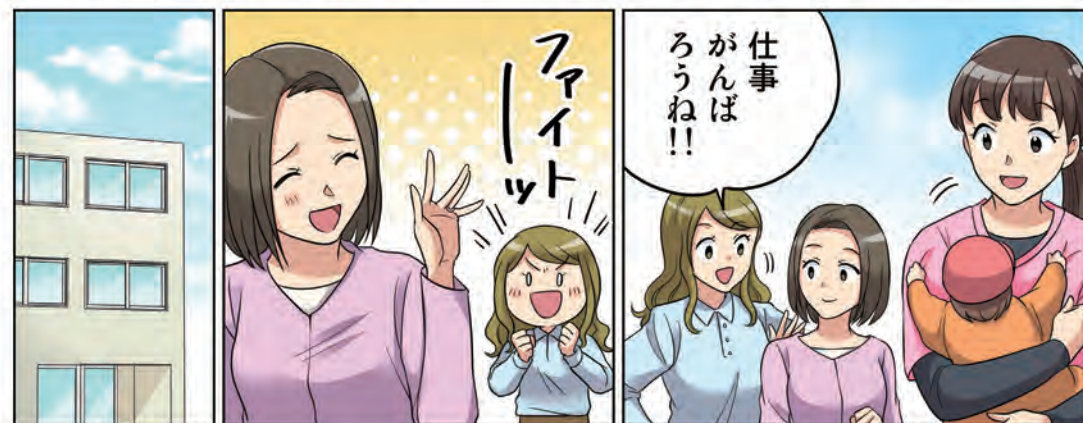
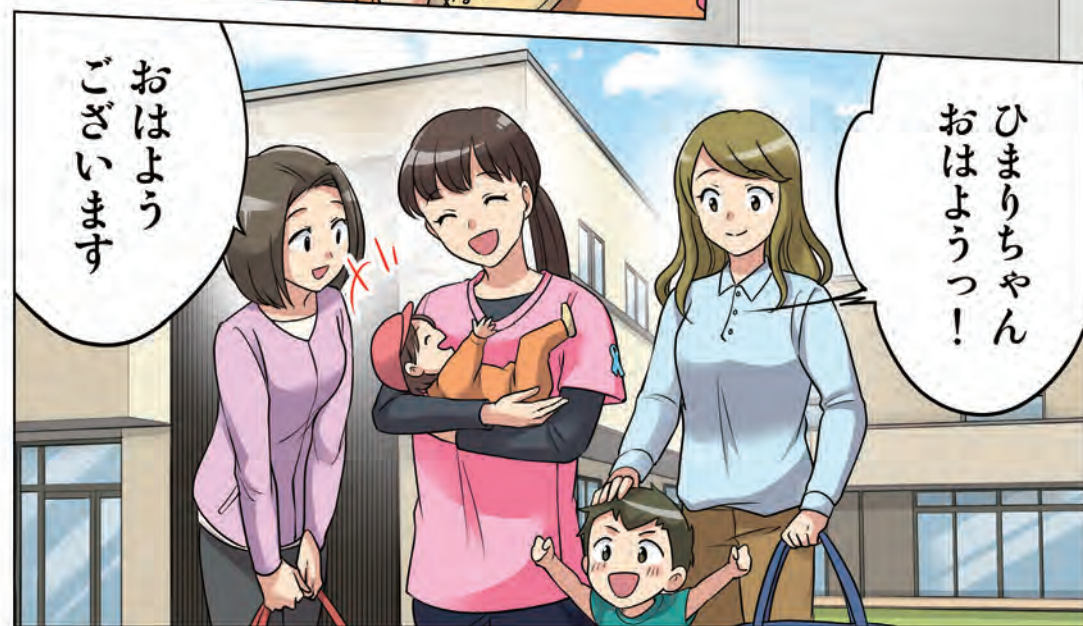
ひまりの成長を
あゆみと
二人で
見守って
いけるのが

楽しみだなんて
思ってた

やずあき
うわっ
あぶないよ

それにしても
改めて
見ると…

子どもって
もう
いろんな個性が
あるのね…



「自己リーダーシップ」ってなあに？

教えて！
堀川先生

リックホープ保育園の特徴を、マンガに出てきた堀川保育士がレクチャーしていきます！



世話をしてくれる人を信頼し、自分は愛されていると感じる



周りの大人や友達とのやり取りを通して、意欲や好奇心を育む

課題や困難を受け入れ
解決する力

「自己リーダーシップ」とは、リックホープ保育園が提唱している独自の概念です。人が自ら成長する力、自立心と言い換えることもできます。人生を自ら切り開くのに不可欠な力です。

課題や困難に直面したとき、人から指示されるのを待つのではなく、自分の理念や価値観に基づいて目標を設定し、それを実現するための体制を構築し、周りの人たちとともに協力し合って解決をしていく。その行動を支える資質を、リックホープ保育園では「自己リーダーシップ」と捉えています。

その「自己リーダーシップ」を育むために必要なのは、全ての人が生まれながらに備えている力（潜在力）です。私たちはこの潜在力を引き出すことを大切に

しています。子どもたち一人一人が、「考える力」、「身体で感じる力」「愛する力」を備えた豊かな大人となるために日々子どもたちと向き合っています。

生まれながらに
もっている「潜在力」

潜在力とは、子どもたち一人一人の内側に潜んでいる可能性です。それが十分に発揮されるかどうかは、人や物、自然などの生活環境に左右されます。

私たちの保育の特徴は、目的に応じたエリアづくり、理念を理解し、実践できるスタッフにより、子どもたち一人一人の潜在力がうまく引き出されるような生活環境を整えている部分にあります。

目標に向かって困難を友達とともに乗り越え、達成する喜びを味わう

保護者の皆さんと一緒に子どもたちの力を引き出します。



目的エリアの例



子どもたちは、自分で考えてエリアを選んで遊んでいます。

ごろごろエリア

集団で生活する中でも一時的に一人になって疲れた心身を休める場所。肌触りのいいものに囲まれて心がやすらぎ、エネルギーをチャージできる。

ふれあいエリア

ままごとなど、友達と言葉のやりとりを楽しむごっこ遊びのための場所。会話を通じて友達との関係性が作られていく。

生活のエリア

心地よく過ごすために、自分でできることはするように促すつくりになっている。
※貼ってあるマークを見て、乳児でも自分のロッカーの場所がわかる。

知るエリア

絵本などが置かれていて、一人、または気の合う仲間と2～3人で、思い思いの姿勢でゆったりと楽しみ、学びを深める。

集中するエリア

パズルや積み木など、座って遊ぶおもちゃが用意されている。一人でできた達成感を味わい、気持ちが高揚される。

体を動かすエリア

ボールやトンネルなどが置かれていて、体を大きく使って遊ぶ場所。遊びを通して体の使い方を知る。バランス感覚も養われる。

教えて！
堀川先生

保育の環境は子どもたちの成長の「土壌」であり、保育理念を実現する重要な要素であると考えています。

「自己リーダーシップ」を育む環境設定って？

私たちが保育園づくりで大切にしているのは、遊びから学びがきっかけがたくさんあること、生活しやすいことです。RICKホープ保育園では、「そこにいる人」、「そこにあるもの」、「そこで起こること」全てを含めたものを保育環境として、子どもたちが自分のチカラを十分使えるようにしています。

遊びから学びがきっかけがたくさんあること

さまざまな遊びの道具を並べたり、遊びの特徴ごとに遊ぶ場所を細かく分けたりしています。上の図を見てください。保育室がいくつかのエリアに区切られています（目的エリア）。座ったり寝転んだりする「ごろごろエリア」、体を使って遊ぶ「体を動かすエリア」、友達との交流を促す「ふれあいエリア」など、大きく6種類に分けられます。そのため子どもたちは遊びに没頭することができ、

遊びからさまざまなことを学びます。保育者は、「そこで何が起るのか」を予想して環境をしつらえ、子どもは指示されるのではなく、自分で考えてエリアを選んで遊びます。そして子どもの成長する姿を発見し、見守ります。自ら考えて行動する（自己リーダーシップ）土壌を作っていると言えます。

遊びのエリアはこうして作られる！

各エリアは以下の観点に留意して、保育者全員が意見を出し合い設定しています。そのエリアをつくる目的に、とことんこだわります！

1. 子どものどんな力、どんな行動を引き出したいのか考える
2. 一人一人の発達に配慮する
3. 子どもの気持ちや意欲に応じた選択肢を用意する
4. エリアは柔軟に組み替える

生活しやすいこと

子どもにとって生活しやすいのは動線がわかりやすく、物や行動手順が整理されている環境です。そのような環境は、子どもたちの生活が習慣化し、安心感を育むことにつながります。

日々育まれる愛情と学びの体験で豊かな人格を形成



一時預かりのお子さんにも、育児担当制保育を行っています！

一人一人の発達と環境に適応する力を培う

環境適応型 育児担当制保育

五つの観点

- 生活リズム：眠くなる／おなかがすく 排せつのタイミング
- 動き方：身体の発達に応じてできること 動きのテンポ
- 興味、関心：今までの体験、経験
- 性格や好み：もって生まれた気質や癖
- 周辺環境：子どもを取り巻く周辺の環境

自然でなじみやすいものになりますし、これらのステップを日々繰り返して、子どもたちの成長する力をスムーズに育むことができます。

メソッド②環境適応型 育児担当制保育
家庭のような愛着のきずなが育つ

私たちの保育園では、二〜三人の子どもにつき担当の保育者一人がお世話をお願いします。集団で保育を行う園と違って、家庭のように安心して過ごせます（※）。園や大人の都合で時間や場所や段取りに子どもを当てはめてしまうのではなく、できるだけ子どもたちのリズムや意思、意欲に合わせながら個々に合った保育を行っています。一人ずつ異なる①生活リズム、②動き方、③興味、関心、④性格や好み、⑤周辺環境をまず把握すること、そして育っていくにつれて変わる行動や反応を常に捉え、育ちへの気づきを繰り返すことで、子どもたちの信頼へとつながり、お母さんやお父さん以外の人への愛着のきずなをもつことができるのです。



教えて！堀川先生

保育理念を達成する手段として、二つの独自の方法を考え、実行しています。

自立に向かい、自ら成長しながら進む力を培う

コンセプト・プロジェクト保育

四つのステップ

- 第1ステップ／春 学びに向かう力・人間性を築く 知識や技能を学ぶ
- 第2ステップ／夏 行動し体験する
- 第3ステップ／秋 成果を確認し、振り返る
- 第4ステップ／冬 休む時期 次に向かう準備をする時期

メソッド①コンセプト・プロジェクト保育
 季節の移ろいとともに成長する

日本の美しい四季の特徴（コンセプト）を、人の一年間の成長にたとえて、それぞれの季節を存分に味わうことが子どもの成長を促していく、そんな保育を行っています。

春は芽生え。命を感じ、またさまざまに知識や技能を身につける時期です。

夏は灼熱の太陽。厳しい現実にも耐える中で、試行錯誤しながら、困難を超えることで人は強さを養います。

秋は収穫。春と夏を越えて実った成果の過程を慈しみ、人それぞれが違うことを理解する中で、優しさが培われます。

冬は休養。秋に得た恵みに感謝し、春に向けてエネルギーを養います。

四季のある日本に生きる私たちにとって、この四段階で計画されている保育は

幼児期に育みたい四つのころ

教えて！
堀川先生

ここに掲げた四つのころを育むことを
保育方針として掲げ、保育を行っています。



リックホープ保育園

のオリジナルメソッド
「コンセプト・プロジェクト保育」(24・25
ページ参照)の春・
夏・秋・冬の四段階に
対応して、図示した四
つのころ、「命の大
切さを知る」「強さを
身につける」「優しさ
を養う」「感謝の気持

ちをもつ」を大切にしながら保育を行っています。
春夏秋冬の日々を重ねながら、人格を形づくる
基礎としてこれらのころを育みたいと考えてい
ます。そのうえで「自己リーダーシップ」、つま
り自分の課題を解決しながら進み、友達の前進も
助けられる力を養っていきます。

乳幼児期に始まり、生
涯にわたって身につけ
ていきたいものです。



春

SPRING

命の大切さを知る

- 本質に気づくために、学びを求め、学習する。
- 人に助けをもらいながら、さまざまなことを吸収する。



夏
SUMMER

強さを身につける

- 思い通りにならない現実を受け入れる。
- 困難でも前進できる知恵を身につける。



秋
AUTUMN

優しさを養う

- 原因から結果へのプロセスを慈しむ。
- 一人一人プロセスが違うことを理解する優しさをもつ。



4月 芽生え・生命との出会い	10月 プロセスを観察
5月 違いの探究	11月 種と果実
6月 筋道を学ぶ	12月 願いを叶えて
7月 行動・活動で表現	1月 めぐる世界・今と昔
8月 チャレンジ・チェンジ	2月 思い出はきずな
9月 乗り越えて進む強さ	3月 夢をつなげて

各季節のコンセプトから、上の表のように12か月のコンセプトを設定し、月間の保育計画を作成しています(詳細は、30～35ページを参照)。

冬
WINTER

感謝の気持ちをもつ

- 成果をもたらした今までの生活環境に感謝する。
- しっかり休み、新たな芽生えの春に向けてエネルギーを蓄える。



0歳には0歳なりの、1歳には1歳なりの「命の大切さを知る」「強さを身につける」「優しさを養う」「感謝の気持ちをもつ」保育を行っています。年が改まるごとにまた新しい4つの段階を上がり、その積み重ねで子どもは成長します。



リック RICホープ保育園に寄せられる保護者様の声をご紹介します！



Yちゃん(2歳児)のママ

長女が0歳から卒園(2歳)まで通っていて、次女のMも迷わず入園させました。RICでは年上の子が年下の子のお世話をするので、自然に**年下の子にやさしくできる子になります**。長女は卒園後に通う幼稚園の運動会で、緊張している友達の横について、まるで先生の助手のようにフォローしたり慰めたりしていました。先生からも頼られているようです。



Mちゃん(2歳児)のママ

先生が**手間をいとわず寄り添ってくれてありがたい**。例えばロンパースの肌着はNGの園が多いと聞きますが、おむつに手を入れる癖があったうちの子に先生が勧めてくれました。



Iくん(2歳児)のママ

小規模保育で入園前は不安もありましたが、**一人一人の個性に合わせた保育をしてくれて**、食事のマナーやトイレトレーニングなど、園と相談しながらスムーズに進められました。



Nちゃん(1歳児)のママ

子どもをとにかく**よく見てくれて、かわいがってくれるところがよかった**です。毎日のように散歩で外に連れて行ってもらえて楽しそうです。RICにしてよかったです。



Rくん(2歳児)のパパ

保育の中で読んでもらった絵本に興味もち、「こんなにも楽しそうにするなんて」とびっくりしたことがあります。今は小学生になって、本を読むことが大好きです。アットホームでゆったりとした雰囲気の園で、**担当の先生でなくても気さくに、子どもの様子を伝えてくれたりしたことがうれしかった**です。



Rちゃん(卒園児)のママより

※写真はRちゃんと保育士



お母さん、お父さんが気になっていることを意識して写真に収めるようにしています。

担当以外の保育者も子どもを見守っています。担当以外の保育者から「いいね！」が押されることもあります。

お昼休みの時間に読んでもらえるように、送信時間にも配慮しています。

「先生～、自分でお着替えできたよ～」って大きな声。



振り返り Reflection

「おうちでもやってみて、お母さんにも見せてあげてね」と約束しました。

チャレンジ Challenge



「うれしいなあ、一人でお着替えられたと見てくれたの」得意げな〇〇ちゃん。

感動 Impression



保育のプロならではの視点で、子どもの成長や発達の表れを捉え、記録します。



※パスワードを入れれば、離れて住む祖父母様も見ることができます。



リック 「RICダイアリー」でできること

- ①保護者に日々の成長(振り返り・感動・チャレンジ)をご報告
- ②お子様の写真、行事の写真などをいつでもダウンロード
- ③行事の連絡や緊急時の情報共有として活用

「ひとりでお着替えられた!」「友達におもちやを貸すことができた!」
保育者は子どもの成長の瞬間を見逃さないようにし、写真に収めています。それらを家庭に共有するために、「リックダイアリー」というオリジナルのスマートフォンアプリを活用しています。「成長の瞬間」は、リックホープ保育園の名前の由来にも

なっているReflection(振り返り)・Impression(感動)・Challenge(挑戦)の瞬間であり、成長のサイクルになっています。
子どもの何気ない言動の中にも、その子どもの育ちや可能性を見て取ることができるよう保育のプロです。リックダイアリーを通してそれを伝えることで、子どもを見る保護者の視点も養われます。

教えて! 堀川先生

保育の考えを家庭と共有し、ともに推進していくために連絡帳に加え独自のスマートフォンアプリを使っています。

日々の成長を共有する R I Cダイアリー

年齢別の保育目標

私たちの保育理念を実現するために、
三つの目標と、各年齢における目標
(内容とねらい)を定めました。



「自己リーダーシップ」(20
ページ参照)を育むために、
年齢共通の三つの保育目標を
掲げています。

目標1 多様な人・物・事の存在を認められる。

保育園の中ではいろいろな出来事が起こり、子どもにとってとはときとして心理的負担になります。しかし全ての多様な人、物、事は存在意味があることを理解し、受け入れなければなりません。そのためには、保育者と子どもの愛情に基づく信頼関係が不可欠です。

目標2 自分で行動し、結果も引き受けられる。

保育者との信頼関係が養わ

れると、意欲が生まれます。自分を取り囲む人が、自分を応援してくれていると思えたとき、子どもたちは自分で感じて気づき、そして行動することができるようになると考えます。

目標3 異なる他者もまとめられ、行動できる。

目標1と目標2が達成できれば、子どもたちは自分のしたいことや夢に向かって行動することができそうです。行動し始めると誰かの助けが必要になり、助けてもらうために自分のしたいことを表明し、コミュニケーションで賛同を得ながら、衝突や行き違いを越えて進むことができます。

※年度末には、子どもたち一人一人の成長をこの保育目標に照らして保育者間で確認し合い、次の1年の成長をイメージしています。

0歳児

愛着からさまざまな存在を認められる

0歳児の「自己リーダーシップ」は、他者(保育者)の存在を認識することから始まります。初めて保育園で過ごす子どもは、

慣れない環境に不安を感じて、泣いて過ごすこともよくありますが、育児担当制保育(25ページ参照)を通じて担当の先生が根気よく離乳食を与え、おむつを交換し、就寝時に言葉をかけていくと、ずっとそばにいて自分のことを受け入れてくれる先生の存在を理解し始めます。や

がて先生を目で追ったり、いなくなるときよろきよと探したりします。先生からの愛情を感じることで、やがて信頼感が芽生えます。身体的なケアを通して保育者との愛情のやりとりから信頼関係が築かれます。

年間目標		愛着から様々な存在を認められる
	コンセプト&【テーマ】	0歳児年間目標
4月	芽生え・生命との出会い【春】	新しい環境の中で、保育者との愛着関係を築きながら、本物に触れ、興味をもつ。
5月	違いの探究【身体】	ふれあい遊びをする中で、体の一つ一つの部位に触れ、保育者や自分の体に興味をもつ。
6月	筋道を学ぶ【水】	水に触れ、安心して水遊びを楽しみ、水の流れるに興味をもつ。
7月	行動・活動で表現【色と形】	保育者に見守られながら、自ら好きな玩具で一人遊びを楽しむ。
8月	チャレンジ・チャレンジ【大きさ】	新しい遊びに興味をもちながら、自分でしたいことに積極的に取り組む。
9月	乗り越えて進む強さ【受け入れ】	園での生活習慣に慣れ、自らできることに取り組み、できたことに保育者とともに喜ぶ。
10月	プロセスを観察【家】	戸外の建物や乗り物などに興味をもち、指さしをして伝えようとする。
11月	種と果実【秋】	秋の自然に触れながら、集めたり、並べたりと、興味をもち、感触を楽しむ。
12月	願いを叶えて【クリスマス】	歌や音楽に触れることを楽しみクリスマスの集いに参加する。
1月	めぐる世界・今と昔【世界の遊び】	一人一人の興味、関心の様子を見ながら、いろいろな遊びに取り組む。
2月	思い出はきずな【衣服】	少しずつ着脱に興味を示し、保育者や周りの友達に手伝ってもらいながら、一緒に取り組もうとする。
3月	夢をつなげて【成長】	新年度に向け、簡単な身のまわりのことを保育者と一緒に取り組む。

- ①年間目標と月のコンセプト&【テーマ】を見て、4月～3月までの発達をイメージし各月に考える
②発達内容が4月～3月で到達するように、スムーズな目標とする
③0～5歳までの年間目標、発達の流れをイメージして考え、年間目標の流れを確認する

0歳児保育の三つのねらい(視点)

①「健やかにのびのびと育つ」(身体的発達)

快適な人間関係、環境の中でののびのびと体を動かし、その結果食事や睡眠など生活リズム感が生まれる。

②「身近な人と気持ちが通じ合う」(社会的発達)

担当保育者が丁寧に語りかけ、それに子どもが応えようとするところから信頼関係を築く。

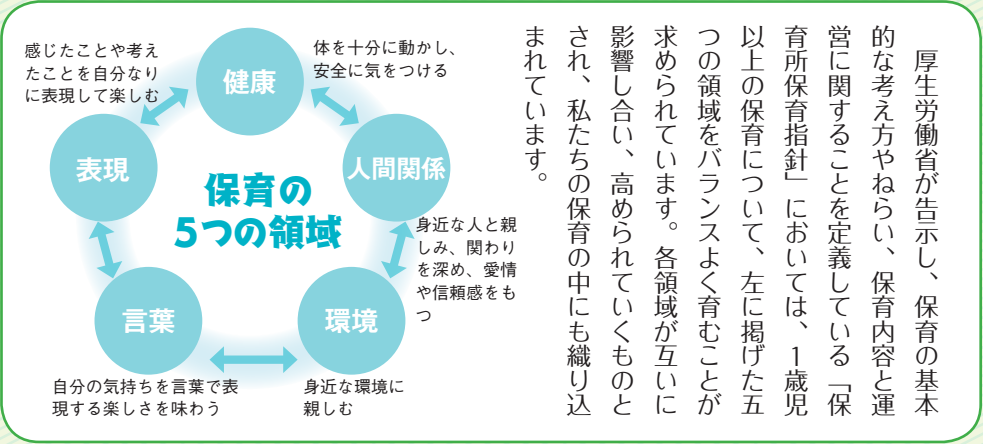
③「身近なものと関わり感性が育つ」(精神的発達)

見る、触る、探索するなど、興味や好奇心をもち、表情や手足体の動きで表現できるようになる。

年齢別の保育目標

年間目標		欲求充足で遊びを楽しむ	好奇心を探究する
	コンセプト＆【テーマ】	1歳児年間目標	2歳児年間目標
4月	芽生え・生命との出会い【春】	新しい環境に慣れ、保育者との愛着関係に気づく中で、春の気候や本質の物に触れる。	新しい環境に慣れ友達や保育士と一緒に春ならではの生き物・植物などの本物との出会いを喜び触れ合う。
5月	違いの探究【身体】	保育者に見守られながら、探究活動を楽しみ、手遊びを通して、体の部位を知る。	保育者や友達と一緒に好きな遊びを十分に楽しんだり体を十分に動かしたりすることを楽しむ。
6月	筋道を学ぶ【水】	保育者や友達と梅雨期ならではの遊びや、水遊びを十分に楽しむ。	保育者や友達とともに梅雨期ならではの遊びに興味をもち取り組む。
7月	行動・活動で表現【色と形】	保育者と一緒にいろいろな玩具に触れる中で、色分けしたり、積み上げたりすることを楽しむ。	友達と言葉のやり取りを楽しみながら一緒に水遊びを楽しみ、いろいろな玩具を使い遊びを広げる。
8月	チャレンジ・チェンジ【大きさ】	水分補給をしっかりとしながら、夏ならではの新しい遊びに興味をもち、十分に楽しむ。	水遊びを十分に楽しみ、新しい遊びを楽しんで取り組む。
9月	乗り越えて進む強さ【受け入れ】	園での生活習慣に慣れ、身の回りのことに興味を持ち保育者と一緒に取り組む。	1日の流れを再度みんなで確認し一緒に取り組み、身のまわりのことが自分でできる喜びと満足感を味わう。
10月	プロセスを観察【家】	体を十分に動かして遊ぶことを楽しみ戸外に出たときには、いろいろな物を見て興味をもち、伝えようとする。	友達と一緒に体を十分に動かす。戸外に出て建物などにも興味をもつ。
11月	種と果実【秋】	屋内外で友達と関わりながら秋の自然に触れ、保育者に共感してもらいながら、十分に遊ぶ。	屋内外で友達と一緒に秋の植物・味覚に触れ興味をもって遊ぶ。
12月	願いを叶えて【クリスマス】	絵本などを介しての簡単な言葉のやりとりを通し、クリスマスの集いを楽しむ。	友達や保育者と一緒にクリスマスの飾りをつけたりして、クリスマスの集いに参加できることを楽しむ。
1月	めぐる世界・今と昔【世界の遊び】	新しい遊びに興味をもち、保育者と言葉を交わしながら、十分に楽しむ。	友達同士で一緒に遊ぶことを楽しみ簡単なルールが理解できる。
2月	思い出はきずな【衣服】	保育者に見守られながら、自ら、着脱に取り組む。	経験したことを自発的に行い自分のことができるようになる。模倣遊びを友達と十分に楽しむ。
3月	夢をつなげて【成長】	新年度に向け簡単な身のまわりのことを自分でできるようになる。	新年度に向け身のまわりのことは意欲的に取り組もうとする。

- ①年間目標と月のコンセプト＆テーマを見て、4月～3月までの発達をイメージし各月に考える
- ②発達内容が4月～3月で到達するように、スムーズな目標とする
- ③0～5歳までの年間目標、発達の流れをイメージして考え、月間目標の流れを確認する



「泣いたら先生が気づいて駆け寄ってくれた」
「靴下を履くことに挑戦し、気が済むまでやってみた」
「先生が褒めてくれた」……
そんな体験が積み重なって、子どもは、満足感を覚え、それが自己肯定感(※)につながっていきます。
欲求の充足は、遊びの中で「声・音・言葉」と出会い、気持ちを表すことによっても育まれます。例えば自分が見た世界を「こっこ遊びで再現し、言葉や体を動かすことで」「感じたり考えていることを表現したい」という欲求が満たされて、心地よさを感じます。

2歳児はできることは自分でやろうとする意欲や体を動かす意欲が増すとともに、言葉による伝え合いが始まる時期です。それは子ども自身が、自分は何を感じ、何を求めているのかという気づきを表に出し、自己主張できるようになったあかしだといえます。子どもたち一人一人の思いを保育者が認め、受け止めることで、子どもたちはさらに人と関わることを楽しむようになり、成長します。

1歳児と2歳児の2年間は、経験を通して何かを表現したいという欲求を引き出すことを大切にします。やがてそれが言葉の獲得や、新しいことへ挑戦する意欲につながっていくからです。

欲求の充足から
自我が芽生える
1、2歳児

欲求充足で
遊びを楽しむ

保育者への信頼感を支えに、1歳児は保育者に欲求を伝えるようになりませんが、それも1歳児が「自己リーダーシップ」を発揮する姿です。

好奇心を
探究する

欲求が充足する心地よさを知って安心感から余裕が生まれると、子どもにも探究する心が育ちます。その知りたい、学びたいという気持ちを保育者が大切にすると、子どもたちは遊びを発展させ、新たな挑戦に取り組むようになります。それがさらに探究心や意欲を育てて、「自己リーダーシップ」に欠かせない、将来の夢を見つける訓練になります。

年齢別の保育目標

年間目標		生活習慣を軸に自信と信頼を深める	友達と遊びを工夫し、自発的に取り組む	自他との活動結果から達成感を味わう
	コンセプト&【テーマ】	3歳児年間目標	4歳児年間目標	5歳児年間目標
4月	芽生え・生命との出会い【春】	新しい環境に慣れ、保育者や友達に親しみ、春の自然に触れ、本物に出会うことで、心地よさを味わう。	進級したことを喜んで登園し、春の自然に触れ本物を知り、自分の好きな遊びを見つけ友達との触れ合いを楽しむ。	年長児になれた喜びを感じ、友達と一緒にいろいろな活動や本物に興味をもって取り組む。
5月	違いの探究【身体】	自分の思ったことや気持ちを表現したり、全身を使った遊びの心地よさを味わう。	同じ場で遊び友達と全身を使って、一緒に遊び、情緒の安定を図る。	戸外遊びで友達と一緒に全身を使って遊ぶ楽しさを味わい、健康に関心をもつ。
6月	筋道を学ぶ【水】	梅雨を通して水・砂・土・泥などの感触や心地よさを味わい思い切り遊ぶ。	雨の日の過ごし方や遊び方を知り、水遊びを通して水の気持ち良さを感じ、開放感を味わう。	友達とアイデアを出し合いながら製作に取り組み、仲間意識が生まれる。
7月	行動・活動で表現【色と形】	友達と一緒に水遊びを通して色々な形や色があることを知る。	いろいろな素材の性質に気づき、それらを使って自由な表現で製作を楽しむ。	自分の思いやイメージをさまざまな方法や活動で表現する。
8月	チャレンジ・チャレンジ【大きさ】	遊びの準備や後片付けの仕方が分かり、自分でしようとする。	夏ならではの活動を十分に楽しみ、自分の体調変化にも意識を向ける。	夏の遊びを全身で楽しみ、自分なりの目当てを達成する喜びやあきらめずにやり遂げることの大切さを学ぶ。
9月	乗り越えて進む強さ【受け入れ】	友達や周囲の事に関心をもち、気の合う友達と楽しむようになる。	思い欲求を相手に伝えたり、相手の思いを知ることでも、お互いに寄り添った関わりがもてるようにする。	自ら行ったことに関しての責任を感じられるようになる。
10月	プロセスを観察【家】	友達と一緒に体を十分に動かして遊んだり、建物等に興味関心をもつ。	みんなで行う活動に喜んで参加し、友達同士で想像のイメージを共有し、つながりを広げる。	友達と目的を共有しながら、一緒に遊びや生活をすすめる楽しさや力を合わせることの大切さを知る。
11月	種と果実【秋】	友達と関わりながら、秋の実りや自然に触れ、変化を発見する面白さや美しさなどを感じながら遊ぶ。	秋の自然に触れて、自発的に興味関心の対象について調べたり、遊びを広げていく。	身近な秋の自然に触れながら、自然の仕組みにも興味をもち、好奇心や探究心を深める。
12月	願いを叶えて【クリスマス】	クリスマスの集いに向け、自分の思いを自分なりの方法で伝える。	みんなで楽しくクリスマスの集いに参加し、充実感と達成感を味わう。	クリスマスの集いという共通の目的をもって、友達とイメージしを共有したうえで、考えたり、工夫したりしながら取り組む。
1月	めぐる世界・今と昔【世界の遊び】	正月の遊びや行事を友達や保育者と簡単なルールある遊び等を楽しむ。	正月遊び等を通し、友達と一緒に伝統文化に親しみ、ルールを守って遊ぶ。	正月遊びを通し、友達と協力し遊びを進め、つくり出す楽しさを味わう。
2月	思い出はきずな【衣服】	興味のあることや経験したことなどを保育者や友達と一緒に表現して楽しむ。	友達と協力したり、認め合ったりしながら、一つのものをつくり上げる楽しさに気付く。	生活に必要な態度や習慣を身につけ、見通しをもち、意欲的に活動を進めていく。
3月	夢をつなげて【成長】	友達に自分の気持ちを伝えたり、友達の気持ちに気付こうとする。	年長児になるという喜びと期待を持ち、友達同士の繋がりを求め活動を楽しむ。	友達と一緒に生活や遊びを進めていく充実感や達成感を味わい、充実感から継続することを学ぶ。

①年間目標と月のコンセプト&テーマを見て、4月～3月までの発達をイメージし各月に考える
②発達内容が4月～3月で到達するように、スムーズな目標をする
③0～5歳までの年間目標、発達の流れをイメージして考え、年間目標の流れを確認する

5歳児

友達と協力してやり遂げ達成感を味わう

自分一人では叶えられそうにない大きな目標や夢も、仲間と連携して叶えようとするのが5歳児です。たとえば共同製作であれば、アイデアを出す、リーダーシップを発揮して指示を出す、わからないことを図鑑で調べるなど、自分ができることをやっていくことで自然と大きなことができていく体験を大切にします。困難に遭遇しながらも最後までやり切り、達成感を感じて喜び合う体験から、「自己リーダーシップ」が培われます。

4歳児

友達との遊びを工夫し自発的に取り組む

4歳児は、「何事も他人ごとではなく『自分ごと』として主体的に取り組む姿が協力者を生む」という、「自己リーダーシップ」の基本が身につく年齢です。友達と教え合

3歳児

生活習慣を軸に自信と信頼を深める

自信と信頼をもとに、仲間と貢献し合うという「自己リーダーシップ」に欠かせない態度を身につけるのが3歳児です。気の合う仲間と一緒に活動する中で、ともに気持ちよく遊ぶためにはルールを守ることが大切であることにも気づきます。ルールやきまりがわかれば、生活習慣も身につけてきます。仲間と関わる中で思いやりの気持ちを育み、自分への自信も深めていくようにします。



行動し、体験して社会性を身につける3～5歳児

3歳児～5歳児の三年間は、友達と関わる中で成長する時期です。共通の目的を実現しようとする体験を大切にします。また、自分で考え、見通しをもって行動することができるようになるのもこの時期の特徴です。「自己リーダーシップ」が発揮されるように、子どもたちが遊びや生活に対して能動的に関わる機会を作るようにしています。

「潜在力」

もって生まれたもの

子どもは生まれた瞬間から呼吸を始め、「おぎゃあ」と泣きます。

誰に教わったものでもなく、自らもっている「何か」によって存在を主張しています。お母さんのおっぱいを吸い出したり、お風呂でお湯がかかると息を止めたりするのも自分もっている「何か」がはたらいっているからです。

一般的には、その「何か」を本能とも呼んだりしていますが、私たちはその「何か」を大人になっても影響されるものとして「潜在力」と名づけました。

その潜在力は、命の中にあるのか、無意識領域に存在するのか、DNAに記されているのか、誰にも説明できませんが存在はしています。

潜在力とは

いろいろな場面で子どもたちの潜在力を感じることが出来ます。

お母さんの笑顔を見て初めて笑ったときや、つかまり立ちしている子どもが、自ら手を放して一歩踏み出そうとしているとき、怖いと感じて泣いたり、物陰に隠れようとしたとき、同じような年齢の子を見て、近づいて話しかけようとしたとき、などです。

子どもが、教えられていなくても何かを感じて行動を起こしたときに潜在力ははたらいているのだと思います。そんな場面は大きくなるにつれ少なくなりますが、小学生になってからでも教えていないことを当たり前に行う姿を見つけると、潜在力はあるのだと確信します。

子どもたちにはそれぞれ生まれたときからもっている秘めた力があります。私たちは、その力を最大限引き出すための保育を求めて大学と協同研究を行い、実践しています。



人は、自分でもわからない内側に潜んでいる可能性を持っていて、あるとき、その可能性を使うことができるのではないかと思います。

体験が情報として蓄積されて、意識せずともふとしたときにでてくる力、それを「潜在力」と呼んでいるのです。

潜在力が埋もれていくとき

大きくなると潜在力は使われにくくなっていくように思います。それはなぜでしょうか。

小学校で子どもどうしがけんかをしたとき、先生が中に入って「けんかはよくないからやめなさい」と教えます。そうして学習していくのですが、もし、先生がいなかったらどうでしょう。けんかを

画一的な保育はしていません。

お昼の時間だから「ご飯にしようね」ではなく、子どもがおなかがすいたと感じたり、保育士のエプロン姿を見て「お昼ご飯だ」と気づいたり、子ども自身の意識からお昼ご飯に向けて行動できる潜在力を引き出します。

潜在力を発揮できる場面を大切にし、子どもが自分の意志として行動できるようになることで、自己の存在を肯定し表現し確信しながら、自分自身で成長できる人になっていくのだと思います。

子どもたちの潜在力を引き出すために、私たちはRICサイクルを使っています。それは、子どもが潜在力を発揮した瞬間を保育士が見つけ、そのときに至るまでのプロセスを振り返りながら、その子が潜在力を使えたことに一緒に感動し、その子が次にチャレンジできる環境を準備していく、という循環です。

RICサイクルとは、子ども自身が潜在力を発揮し成長していく方法です。

子ども版RICサイクルの定義

子どもの内側から湧き上がる興味や好奇心に基づき、どうしていかかやりたいことに向けて、自分新しいことに挑戦したり世界を広げるような成長のサイクル。

その過程でできなかったことを受け入れ、自分できるように向けての行動が生まれる。

友達やさまざまな人・ものに触れ、自然に触れたりしてつながりを感じることで、自分の興味・関心やどうありたいか、周りの関わりを見つけ、自信やエネルギーも得る。

RICサイクルの定義

自分の源泉から湧き上がるミッションに基づき、ありたい姿や実現したい社会に向けてチャレンジを行う変容プロセス。

その過程で、自己課題を受容し、課題解消に向けての行動が生じる。

自分が生命や自然の一部であるというつながりを感じることで、自分のミッションやあり方、社会との関わりを発見し、自信やエネルギーも得る。



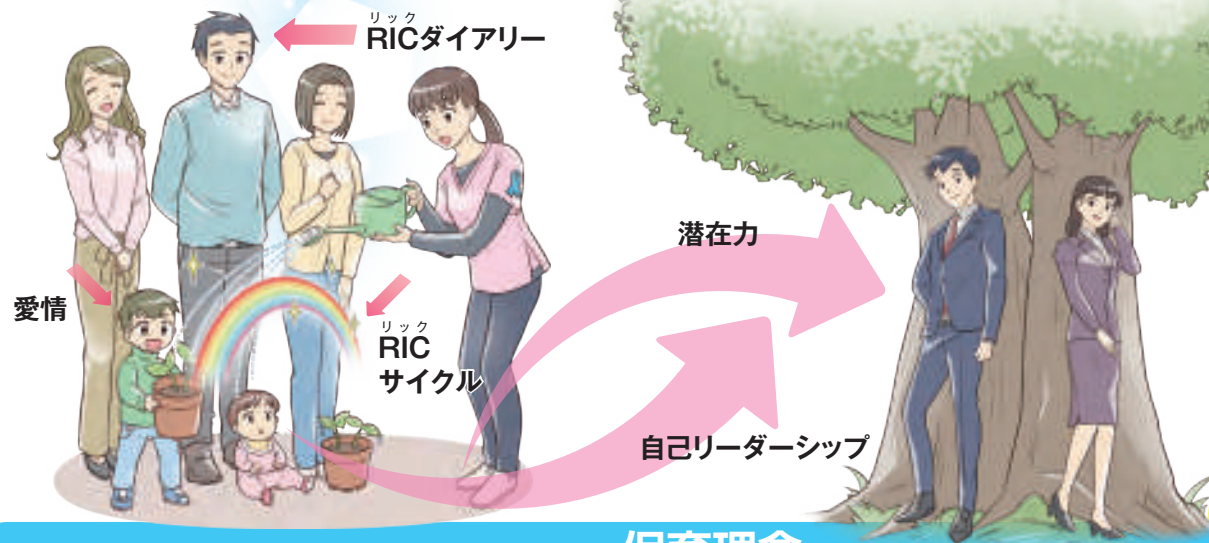
※RICサイクルは「省察・感動・チャレンジの自己変容プロセス——源泉への注目から——」と題し、京都大学医学研究科と産学連携の共同研究結果として2019年に人材育成学会で発表されました。

私たちは、子どもがもっている潜在力を保ち発揮しながら成長できるように、

潜在力をもち続ける保育

保育理念

ここまで述べてきたリック・ホープ保育園の保育の考えをまとめました。それぞれがこのように関わり、私たちの保育を形づくっています。



子どもたちが大きくなって一人の人間として生きていくとき、どんな困難に出会っても、経験したことのない危機が迫っても、自分の潜在力を信じ自分の力で難関を乗り越えて自他を助け、希望をもって成長していく人になってほしい。そんな願いを込めて私たちの保育園は「リック・ホープ」と名づけています。

保育理念

『自ら成長し、自立して貢献できる子』の育成

実践

4つの 保育方針

1. 命の大切さを知る
2. 強さを身につける
3. 優しさを養う
4. 感謝の気持ちをもつ

3つの 保育目標

1. 多様な人・物・事存在を認められる
2. 自分で行動し、結果も引き受けられる
3. 異なる他者もまとめられ行動できる

環境設定とオリジナルメソッド

		【①コンセプト・プロジェクト保育】				OOちゃん OOくん OOちゃん	
		春	夏	秋	冬		
【環境設定】	目的エリア	年間保育計画				【②育児担当制保育】 一人一人の子どもの成長に合わせた保育	
体を動かすエリア	OOOエリア						
	OOOエリア						
	OOOエリア						
ふれあいエリア	OOOエリア						
	OOOエリア						
	OOOエリア						
ゴロゴロエリア	OOOエリア						
	OOOエリア						
	OOOエリア						



施設一覧

R I Cホープ水無瀬保育園

〒618-0011 大阪府三島郡島本町広瀬3丁目10-24水無瀬神宮内
TEL. 075-963-6771/FAX 075-963-6772

R I Cホープ御影

〒658-0054 兵庫県神戸市東灘区御影中町4丁目1-31
TEL. 078-262-1860/FAX 078-262-1861

R I Cホープ島本保育園

〒618-0013 大阪府三島郡島本町江川1丁目15-17
TEL. 075-963-2600/FAX 075-963-2601

R I Cホープ高槻保育園

〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目5-30
TEL. 072-676-7055/FAX 072-676-7056

R I Cホープ西成保育園

〒557-0052 大阪府大阪市西成区潮路2丁目1-32
TEL. 06-6655-4006/FAX 06-6655-4007

R I Cホープ美原保育園

〒587-0054 大阪府堺市美原区南余部西1丁目1-2
TEL. 072-370-7147/FAX 072-370-7148

お問い合わせ

TEL.072-681-7465

(営業時間 9:00 ~ 18:00 土日祝休み)

株式会社 パワフルケア

〒569-0803 大阪府高槻市高槻町5番23号 ファイブビル5F
TEL. 072-681-7465/FAX. 072-681-2443